

令和元年度 自己点検・自己評価

東京HOPE日本語国際学院

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

1. 教育理念・目標等			評価
1	1-1	理念・目的・目標とする人材像は定められているか	5
2	1-2	理念に基づく教育が行われているか	5
3	1-3	学校の特色が明確になっているか	4
4	1-4	学校の将来像を抱いているか	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

日本語教育を通じ異文化交流を図り、国際的な場で能力を発揮することのできる人材育成に寄与するという理念を具現化するために、学び得た知識を相補的に活用して未知の事柄・状況を解決できる「課題達成能力」の育成に努めている。学生の学習目的・状況が一層多様化してきていることから、中長期的な対応が課題である。

2. 学校運営			評価
5	2-1	運営方針は定められているか	5
6	2-2	事業計画は定められているか	5
7	2-3	運営組織や意志決定システムが確立され、効率的なものになっているか	5
8	2-4	人事・賃金・福利厚生といった処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
9	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図れているか	4
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
11	2-7	危機管理体制は整備されているか	4
12	2-8	施設整備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

毎年の事業計画に基づき適切に運営されている。業務効率化については随時改善を図っていく必要がある。処遇・職場環境については人事規定に則り適切に対処されている。情報管理について大手システム会社によるサーバー導入によりセキュリティの徹底が図られている。全国的に自然災害の発生多発が懸念されていることから、今後防災面等での危機管理体制の向上を図っていく。

3. 教職員			評価
13	3-1	教育理念・目標が教職員間で共有されているか	5
14	3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
15	3-3	教員の指導力向上のための取り組みがされているか	4
16	3-4	教職員評価を適切に行っているか	4

【現状・具体的な取り組み／課題】

教職員の新規採用時及び定期会議の際に教育理念・目標の周知を文書により行っている。学生からの授業評価、主任教員による授業見学等を実施しており、講師会議については討議検討時間を拡大し各人の意見を取り入れられるよう工夫している。教職員評価を当人にフィードバックし業務改善に取り組んでいる。

4. 教育活動・教育成果			評価
17	4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
18	4-2	成績評価・進級及び修了の判定基準は明確になっているか	5
19	4-3	成績評価は適切に行われているか	5
20	4-4	カリキュラム等の改善のための取り組みがされているか	4
21	4-5	目標達成に向けた指導を行える要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
22	4-6	学生に対する適切な進路を行っているか	4

【現状・具体的な取り組み／課題】

各学期を3か月ごとに設定し、クラスの編成を見直し適切なレベルでの教育が提供されている。また同レベルであってもより適切な授業内容となるよう配慮されている。成績評価の基準を明文化し学生に提示している。進路面談により学生個々人の目標に応えられるよう配慮しているが、より一層細やかな対応を要するようになっている。教員の定着率も高まり意欲的に業務に取り組んでいる。

5. 学生支援			評価
23	5-1	進学・就職指導に関する体制は整備されているか	4
24	5-2	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
25	5-3	学生相談に関する体制は整備されているか	5
26	5-4	学生の心身の健康管理・事故・けが等に対するサポート体制は整備されているか	5
27	5-5	防災や緊急時における危機管理体制が整備されているか	4
28	5-6	保護者と適切に連携しているか	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

3か月ごとに定期面談を実施し現状把握・適切な支援提供に努めているが、進学等の指導をさらに充実させたい。学生寮を運営し経済面・心理面での負担軽減を図り、生活指導を行っている。健康診断を定期的実施するとともに留学生共済への加入により不慮の事故・病気に備えている。保護者・仲介機関との連携を密にし適切に対応できるような体制をとっている。

6. 教育環境			評価
29	6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
30	6-2	適切で十分な教材が整備されているか	5
31	6-3	学習効率を高めるための工夫がされているか	4
32	6-4	周辺地域と連携し、地域ぐるみで教育する体制が整備されているか	3

【現状・具体的な取り組み／課題】

学校施設・設備について定期あるいは随時に保守点検・修繕が行われており安全が確保されている。また生活指導として授業終了後学生による整頓清掃を実施し、常に清潔が保たれている。現在ICT教育の導入に向けた整備を進め教材開発に向けて動いている。周辺地域からの留学生、日本語学校への理解を一層得られるよう図っていく。

7. 在籍管理と生活指導			評価
33	7-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
34	7-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
35	7-3	日本の法令を遵守させる指導を行っているか	5
36	7-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

入学時オリエンテーション・3か月ごとの定期面談を通じ、法令遵守・学則・生活習慣・留学生としての心構え等についての指導を行っている。所轄警察署による犯罪防止講習を定期的に実施している。全教職員による情報共有のために学生個々の指導記録を作成している。

8. 学生の募集と受入			評価
37	8-1	学生の受入方針は定められているか	5
38	8-2	学生募集活動は、適切に行われているか	5
39	8-3	募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
40	8-4	パンフレット、ホームページ等により、正確な学校情報が伝えられているか	4
41	8-5	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づいて行われているか	5
42	8-6	適正な定員設定および在籍者数になっているか	5
43	8-7	授業料他の費用は適切か	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

事業計画に基づき各学期ごとに学習目的・日本語能力・経費支弁能力等を基準とした選考・学生募集が行われている。学費等については他の日本語教育機関との比較からも適切だといえる。定員・在籍者数については関係法令に従って適切に設定されている。教育成果及び学校に関する最新情報についてはより一層広報・情報提供に努める必要がある。

9. 財務			評価
44	9-1	中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	5
45	9-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
46	9-3	財務についての会計監査が適切に行われているか	5
47	9-4	財務情報公開の体制は整備されているか	3

【現状・具体的な取り組み／課題】

設置者HOPE有限会社の財務基盤は中長期的に安定しており、予算・収支計画についても有効かつ妥当である。会計処理は適切に行われており、顧問税理士による監査も行われている。財務情報公開については引き続き検討していく。

10. 法令遵守			評価
48	10-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
49	10-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
50	10-3	関係省庁への定期報告等を遅延なく行っているか	5
51	10-4	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
52	10-5	自己点検・自己評価を公開しているか	4

【現状・具体的な取り組み／課題】

関係法令を遵守し設置基準を満たした運営がなされており、関係各機関への報告等も適正に行っている。個人情報の取り扱いについては「個人情報保護規定」を設け、情報へのアクセス権を設定し適切な管理に努めている。自己点検・評価については評価項目・内容について改善に努めていく。

11. 地域貢献・社会貢献			評価
53	11-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2
54	11-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2

【現状・具体的な取り組み／課題】

外部からの学校行事参加を呼びかけ、地域社会から理解を得られるよう努めているが、積極的な情報発信・広報を図る必要がある。今後の学校施設活用や社会貢献については課題が多く、さらなる努力を要する。